



小牧市教労は、今年度も市内の小中学校25校の協力を得て授業持ち時間調査を実施しました。
持ち時間数とともに、教頭・教務主任・「校務主任」に授業持ち時間数について意識アンケートしたところ、「これ以上持てない」との声がほとんどでした。
在校時間を記録するようにはなったものの、仕事量は減らず、相変わらず長時間労働の続く学校現場。教師がゆとりをもって授業に臨み、子どもたちに接することが大切です。

☆ 授業持ち時間数は労働条件のパロメーター
当面だれもが24時間以内

☆ 長時間過密労働問題の抜本的解決策は
少人数学級の実現と教職員的大幅定員増

* 持ち時間24時間以内達成校 <小学校>
全学年達成 1校…J小
1年 3校(4) 2年 3校(3) 3年 7校(7)
4年 6校(6) 5年 13校(13)
6年 15校(14)
* 成績をつける教科を受け持っている
教頭 7校(3) 教務主任 14校(12) 「校務主任」 15校(15)
※()内は2014年度の学校数
* 成績をつける教科を積極的に受け持つ学校が増えた一方で、本務である「授業」から遠ざかっている学校も見受けられる。再任用教員が増えている今ならどの学校も教頭・教務主任・「校務主任」の頑張りですべて達成できるはずである。

2015年度授業持ち時間数調査結果<小学校>

() 入り授業教科

委員会・クラブ・総合TT・初任研は含まない。小数点以下四捨五入 前・後期で分かれている場合は前期 (2014年度比 △改善 ▼悪化)

	A小	B小	C小	D小	E小	F小	G小	H小	I小	J小	K小	L小	M小	N小	O小	P小
1年	25	25	25	25	25	25	25	24 (書)	24 (書)	24 (書)	25	25	25	25	25	25▼
2年	25 (書)	26▼	26	26	26	26	25 (書)	25 (書)	25 (書)	24 (音)	25 (書)	25 (書)	24 (音)	26	25 (書)	24 (音)
3年	24	25▼	26	24△	26	25	24△	24	25	24△	22△	25	24	25	26▼	25▼
4年	25	24	26	25	25	25	24△	25	24	24△	24	25	23	26	26▼	25▼
5年	24	24	26	23△	24	24	24△	23	24	23△	22△	24	23	24△	25▼	26▼
6年	24	24▼	26	23△	24	23△	24	23	24	23△	23	23	23	24△	24	23▼
教頭	5	8△	5▼	4	10△	6	10△	5▼	8△	8	12△	6	9△	8	7▼	7
担当教科	書特	書算TT特	図特	書特	算TT 少経 験者 授業	書算TT特	音特	図算TT	書理特	書算TT 図特	算TT特	理算TT	書算TT	算TT特	書社	書算TT
教主	12▼	9△	12▼	12▼	10△	11▼	12▼	9▼	12	12△	11▼	9	10	12▼	14△	5▼
担当教科	理	算少 算TT	理	理	算TT 少経 験者 授業	社特	理特	社	理特	理算TT特	理算TT	理算TT	書算TT	書図特	理	社特
校主	16	13▼	14▼	16△	12△	14▼	14	13▼	14	15▼	15	14△	15	18△	18△	24
担当教科	書社特	理特	理特	書図特	書算TT	理算TT	理特	書理	理特	社算少特	理特	図算TT特	理算TT特	書図算TT	図体特	担任



2015 年度授業持ち時間数調査結果

< 中学校 >

* 初任研・会議は含まない (2014 年度比)

△改善

▼悪化

	A中	B中	C中	D中	E中	F中	G中	H中	I中
教頭	3▼ 国際取り出し3	7▼ 特TT5 国際2	14△ 数学TT14	0▼ 新任の指導 教員のため	8▼ 国語TT6 特2	10 国語8 特2	8 英語8	8▼ 国語6 特2	5▼ 取り出し5
教務主任	9▼ 数学少人数9	14 数学TT14	12 国語12	9 数学4 総合TT5	8△ 国語TT6 特2	9 数学8 特1	14 美術9 技術3 特2	9▼ 社会9	12▼ 保体9 取り出し3
校務主任	10▼ 技術10	12△ 保体9 特3	14△ 英語8 英語TT4 特2	18△ 数学8 総合TT5 特3 取り出し2	15 美術14 特1	14 数学4 数学TT6 特3 国際1	15 音楽9 特2 特TT4	12△ 国語TT8 特2 取り出し2	16△ 社会7 社会TT2 特1 取り出し6

「これ以上授業を持つのは 無理！」の原因は？ (アンケート結果より) □ 強く思う □ そう思う

